

T20230131_02_MarketsandMarkets

5G 固定ワイヤレスアクセス産業、2028 年までに 1530 億ドル

マーケット&マーケット(MarketsandMarkets)のレポート「5G 固定ワイヤレスアクセス市場、提供品(ハードウェア、サービス)、運用周波数(Sub 6GHz, 24-39 GHz, Above 39 GHz)、デモグラフィ(都会、準都会、地方)、アプリケーションおよび地域(北米、ヨーロッパ、APAC、RoW)、2028 年までのグローバル予測」によると、世界の 5G FWA(固定ワイヤレスアクセス)市場は、2023 年に 294 億ドル、予測期間に CAGR(年平均成長率) 39.0%で成長して、2028 年までに 1530 億ドルに達する見込である。

マシン・ツー・マシン(M2M) & IoT(モノのインターネット)などの先端技術の採用増、5G FWA にミリ波技術利用増が、5G 固定ワイヤレスアクセス(FWA)市場の成長原動力となる見込である。しかし、インフラストラクチャの高コスト、環境へのミリ波技術の悪影響が、市場成長に制限要因となる。

5G FWA 市場は、主要 Tier1 および Tier2 プレイヤを含む。Nokia、サムスンエレクトロニクス、Huawei Technologies、Ericsson、Inseego など。これらのプレイヤは、北米、ヨーロッパ、APAC、RoW の様々な国々で 5G FWA の強力な市場プレゼンスを有している。

5G FWA でミリ波技術の利用増

5G 固定ワイヤレスアクセス市場の成長原動力は、増加するワイヤレスネットワーク容量、高周波ミリ波が提供する高速性。ミリ波は、30GHz~300GHz 間の電磁スペクトルの比較的未使用の部分。5G 固定ワイヤレスアクセス技術は、大きな帯域、高分解能、低干渉、コスト優位性、高いセキュリティを提供する。それにより、複数の商用アプリケーションで使用される微小コンポーネントの開発が可能になる。5G 固定ワイヤレスアクセスは、固定通信、医療、リモートセンシング、コンシューマエレクトロニクスアプリケーションへ拡大している。これに含まれるのは、IPTV へのミリ波利用、Wi-Fi アライアンス標準(802.11n)の将来的置き換え、ワイヤレスビデオ伝送。